株式会社ニチレイ 〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号　ニチレイ東銀座ビル
☎(03)3248−2101(代表)

配当金のお支払いについてのご案内

第98期中間配当金は、次のいずれかの方法により、2015年12月4日(金)からお支払い申しあげます。

■口座振込にてお受け取りの株主様

「配当金計算書」および「お振込先について」を同封していますので、ご確認ください。

■株式数比例配分方式をご指定の株主様

「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封しています。また、源泉徴収税額計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類は、お取引の証券会社等へご確認ください。

■配当金領収書によりお受け取りの株主様

同封の「第98期中間配当金領収書」記載のお支払い方法をご高覧の上、最寄りのゆうちょ銀行本支店・出張所および郵便局(銀行代理業者)にて、払渡しの期間内(2015年12月4日(金)～2016年1月29日(金))にお受け取りください。なお、同封の「配当金計算書」は、配当金をお受け取り後の配当金額のご確認や確定申告の添付資料としてご使用いただけます。

■次回より口座振込をご希望の場合

証券会社等に口座をお持ちの株主様はお取引の証券会社等にて、特別口座の株主様はみずほ信託銀行にて、それぞれお手続きください。

株式事務に関するご案内

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券口座に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル　0120−288−324 受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)
各種手続お取扱い(住所変更、配当金受け取り方法の変更、単元未満株式の買取・買増等)		●みずほ証券　本店、全国各支店および営業所 (プラネットブースでもお取り扱いいたします) ●みずほ信託銀行　本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんので、ご了承ください。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行およびみずほ銀行　本店および全国各支店 (みずほ証券では、取次のみとなります)	
支払明細の発行	みずほ信託銀行　証券代行部(フリーダイヤル　0120−288−324)にご相談ください。	

単元未満株式をお持ちの株主様へのご案内

■単元未満株式は市場で売買できません。買取・買増については、お取引の証券会社等にご相談ください。

■特別口座にある株式の買取・買増については、みずほ信託銀行にご相談ください。
(特別口座では単元株の売買ができないため、売買ご希望の方は、証券会社に口座を開設し株式を振り替えていただく必要があります)

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
PRO-WE PROJECT-With the Earth この冊子の印刷・製本に係るCO₂はPROJECT-With the Earthを通じてオフセット(相殺)しています。

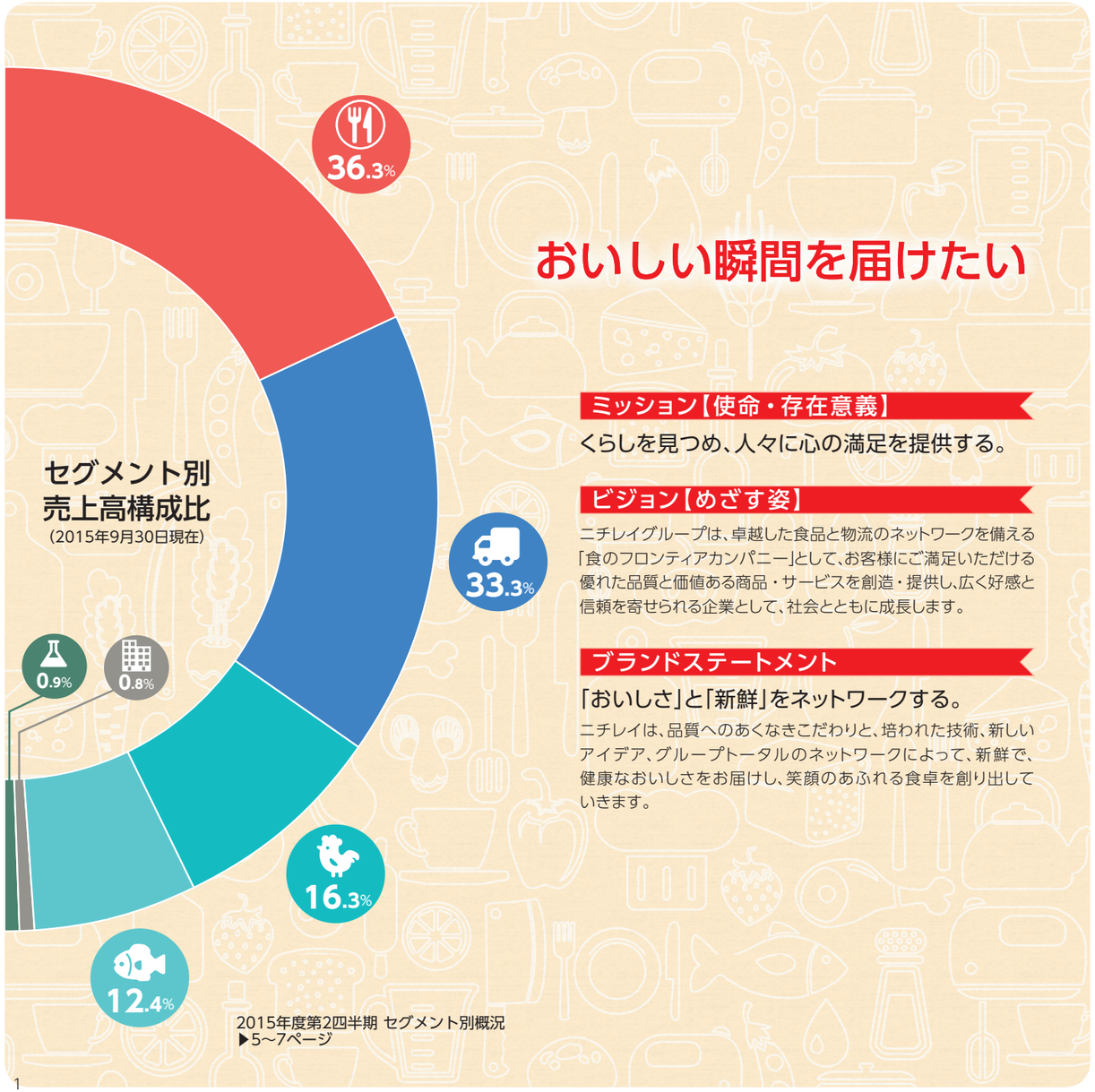
HOPPE ほっぺ

Vol.35

第98期中間 グループ報告書
2015年4月1日～2015年9月30日

©nobu sati

株式会社ニチレイ　証券コード：2871



セグメント別
売上高構成比
（2015年9月30日現在）

おいしい瞬間を届けたい

ミッション【使命・存在意義】

くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する。

ビジョン【めざす姿】

ニチレイグループは、卓越した食品と物流のネットワークを備える「食のフロンティアカンパニー」として、お客様にご満足いただける優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄せられる企業として、社会とともに成長します。

ブランドステートメント

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。

ニチレイは、品質へのあくなきこだわりと、培われた技術、新しいアイデア、グループトータルのネットワークによって、新鮮で、健康なおいしさをお届けし、笑顔のあふれる食卓を創り出していきます。

2015年度第2四半期 セグメント別概況
▶5〜7ページ

株主の皆様へ

新たな顧客価値創出に向け、変化への迅速な対応力を発揮

代表取締役会長　村井利彰
代表取締役社長　大谷邦夫

第98期中間グループ報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申しあげます。

当第2四半期（6か月）の経営環境ですが、食品業界では円安基調の継続などの影響から、原材料・仕入コストが高止まりしております。また食品物流業界では、ドライバーをはじめ、人手不足などによるコスト上昇が継続しています。当社はお取引先のご理解をいただきながら価格改定や業務効率化を含むコスト吸収策など、収益性の改善に向けた取り組みを進めています。

おかげさまをもちまして、第2四半期としては前年度を上回る売上高、利益につながりました。今年はグループ中期経営計画「RISING2015」（2013年度〜2015年度）の最終年度であるとともに、会社創立70周年にも当たっています。足元では人手不足などの影響や世界経済の下振れリスクが懸念され、先行きはやや不透明な状況になってきておりますが、当社といたしましては、中期経営計画の最終年度目標の達成に向け、努力してまいります。

当社は創立以来、時代の大きな流れに迅速に対応し、新たな顧客価値を創出してまいりました。今後も、持続的な成長の実現に向け、「変化への迅速な対応力」を遺憾なく発揮し、各事業における経営施策を着実に遂行してまいります。株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2015年12月吉日

第2四半期 連結財務ハイライト

第2四半期決算ハイライト

売上高

加工食品事業は業務用調理冷凍食品の販売が減少したものの全体では34億円の増収、畜産事業は鶏肉の販売が伸長し30億円の増収となり、グループ全体では88億円の増収

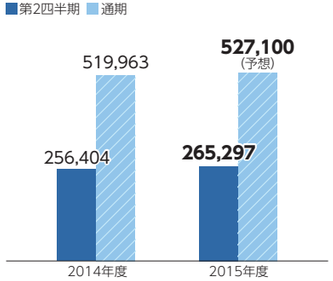
営業利益

加工食品事業は前年度に実施した価格改定などにより収益性が改善し13億円の増益、低温物流事業は集荷活動を着実に進めたことなどから11億円の増益となり、グループ全体では27億円の増益

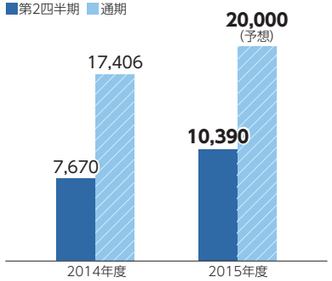
親会社株主に帰属する四半期純利益

経常利益は27億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億円の増益

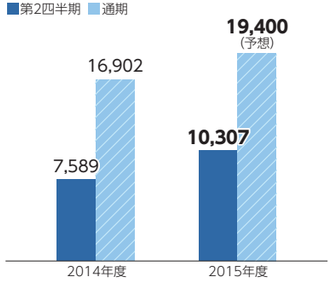
売上高 265,297百万円



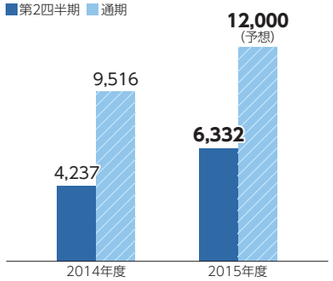
営業利益 10,390百万円



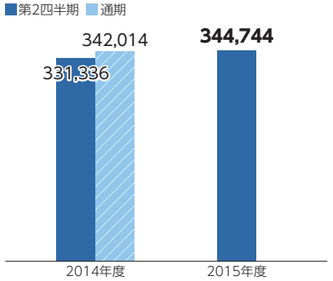
経常利益 10,307百万円



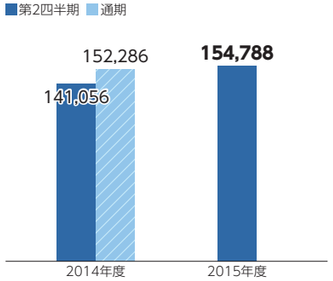
親会社株主に帰属する四半期純利益 6,332百万円



総資産 344,744百万円



純資産 154,788百万円



※2014年度の第2四半期および通期は、会計方針の変更に伴う遡及修正後の数値を記載しております。

第2四半期 連結財務諸表

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表(要旨)

2015年9月30日現在

(単位:百万円)

区　分	金　額
流動資産	143,741
固定資産	201,002
資産合計	344,744
流動負債	100,976
固定負債	88,978
負債合計	189,955
株主資本	135,275
その他の包括利益累計額	14,239
非支配株主持分	5,273
純資産合計	154,788
負債純資産合計	344,744
設備投資等の金額※	7,522
有利子負債 (リース債務除く)	105,927 (86,503)
1株当たり純資産額	523円13銭

※設備投資等の金額は、有形固定資産および無形固定資産に係る投資額の合計金額です。

連結損益計算書(要旨)

2015年4月1日から2015年9月30日まで

(単位:百万円)

区　分	金　額
売上高	265,297
営業利益	10,390
経常利益	10,307
税金等調整前四半期純利益	9,809
四半期純利益	6,636
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,332
減価償却費	8,094
研究開発費	763
1株当たり四半期純利益	22円16銭

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

2015年4月1日から2015年9月30日まで

(単位:百万円)

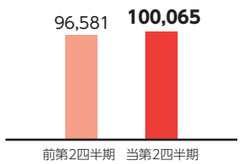
区　分	金　額
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,120

加工食品事業

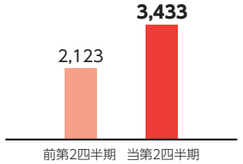
■業務用調理冷凍食品は販売数量が減少したものの、農産加工品や海外の売上げが寄与し増収

■円安などによる原材料・仕入コスト上昇が続くなか、価格改定効果や生産性の向上を進めたことにより増益

売上高 100,065百万円



営業利益 3,433百万円

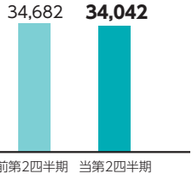


水産事業

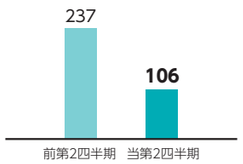
■中食・外食からのニーズに対応した加工度での商品提供に取り組んだものの、一部魚種の取扱いが低迷したことや円安による仕入コスト上昇により売上げ・利益とも前期を下回る

■「たこ」は前期に比べ利益率が低下したものの、「えび」は調達拠点の多様化を進め加工品の利益率が改善

売上高 34,042百万円



営業利益 106百万円

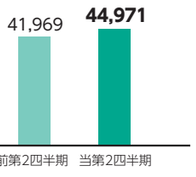


畜産事業

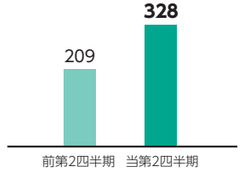
■鶏肉や牛肉は供給不足により国産品を中心に高値が続くなか、産地からの集荷を強化した鶏肉の取扱いが伸長したことなどにより増収

■仕入コストが上昇した輸入豚肉の利益確保に苦戦したものの、牛肉の販売価格が上昇したことや、鶏肉が生鮮品・中食向け加工品を中心に好調に推移したことにより増益

売上高 44,971百万円



営業利益 328百万円



Foods 8月8日が『チャーハンの日』として認定！

ニチレイフーズ

一人当たりの米消費量が減少するなか、外食や中食、冷凍米飯など炊飯を必要としない米飯商品の需要は高まっています。なかでもチャーハンは子供から大人まで幅広く食べられている人気メニュー。

ニチレイフーズは、そんなチャーハンをより身近に、おいしく食べてもらうためのきっかけを作りたいと考え、8月8日を『チャーハンの日』として一般社団法人日本記念日協会に登録申請をしました。

『チャーハンの日』の当日には、全国各地の売り場にて、新たな三段階炒めの特許製法技術でリニューアルした新・本格炒め炒飯をご試食していただくなど、夏場のチャーハン需要を盛り上げました。

どうして8月8日がチャーハンの日？

おいしいチャーハンの特徴である「パラ(8)パラ(8)」の語呂合わせに由来します。また毎年8月8日頃は立秋となり、残暑が厳しく、食欲や体力ともに減退する時期。お米のパワーが詰まった熱いチャーハンで夏場を乗り切ってもらいたいという願いも込めました。

Fresh 殻ごとそのまま食べられる「ソフトシェルシュリンプ」

ニチレイフレッシュ

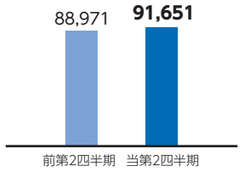
ニチレイフレッシュでは、約5年前からタイ産バナメイエビのソフトシェルシュリンプの取扱いをスタートさせ、昨年からインドネシア、ベトナムと生産地を拡大しています。

水揚げした鮮度の良いえびのなかから、脱皮したての殻の柔らかいえびを選別した“ソフトシェルシュリンプ”は、加熱後、頭から尻尾まで丸ごと食べられるので、外食チェーンを中心に人気を獲得し、取扱量を増やしています。

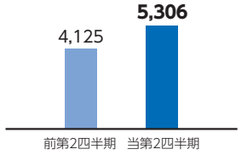
低温物流事業

■輸配送コストが高止まりするなか、大都市圏を中心とした集荷拡大の寄与やコスト吸収策の進捗に加え、海外も堅調に推移し増収・増益

売上高
91,651百万円



営業利益
5,306百万円



Logi

1日約4,000運行を支えるロジネット協力会

ニチレイロジグループ

日本国内の主要な産地、消費地の拠点を結ぶ広域ネットワークと、各エリアの隅々まで行きわたる配送網を併せ持つニチレイロジグループは、1日約4,000運行のトラックを走らせています。

この運行を支えるロジネット協力会は、運送会社で組織される任意団体で、物流オペレーションを担うロジスティクス・ネットワークと、トラック運送を担う協力会各社とが互いに切磋琢磨しながらパートナーシップを築きあげてまいりました。

ニチレイロジグループは、今後もロジネット協力会との信頼関係を深めていきながら、付加価値の高い物流サービスの提供を目指してまいります。

ロジネット協力会では、ドライバーコンテストや乗務員研修、安全講習会などを通じて、
法令遵守や物流品質向上、環境負荷低減に努めています。

当社グループ全体の予想

(単位：百万円)

		通期		
		予想	対前期比較	
			増減額	増減率(%)
売上高	加工食品	198,500	4,552	2.3
	水産	68,900	242	0.4
	畜産	88,100	△1,366	△1.5
	低温物流	182,000	3,677	2.1
	不動産	4,700	△43	△0.9
	その他	4,900	523	12.0
	調整額	△20,000	△449	―
	合計	**527,100**	**7,136**	**1.4**
営業利益	加工食品	6,800	1,422	26.5
	水産	400	154	63.2
	畜産	600	226	60.5
	低温物流	10,000	1,274	14.6
	不動産	2,100	△22	△1.1
	その他	600	33	5.9
	調整額	△500	△495	―
	合計	**20,000**	**2,593**	**14.9**
経常利益		**19,400**	**2,497**	**14.8**
親会社株主に帰属する当期純利益		**12,000**	**2,483**	**26.1**

※年間の為替レートは、1米ドル122円、1ユーロ135円を想定しております。
※対前期比較は、会計方針の変更に伴い遡及修正を行ったため、遡及修正後の前期数値と比較して記載しております。

セグメント別の予想

加工食品事業

■下期も引き続き円安による原材料・仕入コスト増の影響を受けるが、前期実施の価格改定の効果に加え、国内生産体制強化による集約・効率化なども寄与し増益を見込む

水産・畜産事業

■水産事業では最需要期である第3四半期に拡販を図るとともに、畜産事業では国産チキンの販売拡大や中食ルート向けに加工品の販売を強化する

低温物流事業

■東京圏と大阪圏で増強した設備能力を活用し旺盛な保管需要を着実に取り込むとともに、ドライバーなどの人手不足によるコスト増加に対して業務改善や運送効率化をさらに推し進めることで増収・増益を見込む

Introduction

調理冷食ボリュームゾーンの“お弁当”市場を再活性化!

お弁当にGood! ・着色料 ・保存料 ・化学調味料 使用していません

ニチレイフーズの“お弁当にGood!®”シリーズは、お子様により自然に近い、安心な食品をと願うお母さんの気持ちにお応えし、着色料、保存料、化学調味料を使用せず、素材が持つ自然のままの味わいを活かした商品です。

調理冷凍食品最大のボリュームゾーンであるお弁当カテゴリーの主力商品として2003年から発売し、お弁当の定番ブランドとして定着してまいりました。

2015年秋の新商品・リニューアル商品の発売とともに、“お弁当にGood!®”シリーズ全品のパッケージを変更し、商品価値の訴求を強化。この最大ボリュームゾーンでの拡販を目指してまいります。

“お弁当にGood!®”シリーズ　パッケージ大幅リニューアル

New
“お弁当にGood!®”のコアコンセプトである3つの食品添加物不使用は
「着色料、保存料、化学調味料使用していません」とはっきり訴求！

New
商品画像を明瞭に見せるよう
商品名はパッケージ上部に移動！
また陳列の際に商品名を見やすくするよう
文字を大きく表示！

New
使用シーンの拡大を図るため
お弁当以外での活用方法を表示！

旧パッケージ　　新パッケージ

New
健康意識の高まりに対応して
裏面に記載している成分表示から
カロリーと塩分を表面にも表示！

新商品紹介　ニチレイフーズ2015年秋のおすすめ新商品をご紹介します！

お弁当にGood!® かわいいとろ～りオムレツ

外はふわっと、中はとろっとした食感のプレーンオムレツです。牛乳とチーズを隠し味に卵にコクを加えました。お弁当に入れやすいかわいいサイズです。

お弁当にGood!® ぎゅっと絞った瀬戸内レモンからあげ

定番の塩からあげに、瀬戸内産レモンの果汁を加えてさっぱり爽やかな味に仕立てました。

お弁当にGood!® ペッパー&マヨ粗挽きハンバーグ

粗挽きポークのハンバーグです。豚肉のあっさりした旨みに加えて、生姜を隠し味にマヨソースのコクと粗挽きペッパーを効かせた大人もおいしく食べられるハンバーグです。

ロングセラー商品

お弁当にGood!® からあげチキン

発売28年目を迎えたロングセラーの商品です。香味油を加えてさらにおいしく仕立てました。自然解凍で召しあがれます。

お弁当にGood!® パリパリの春巻

皮がパリパリ、中具はとろーりとした春巻です。ごま油とオイスターソースを加えた旨みが食欲をそそります。自然解凍で召し上がれます。

お弁当にGood!® ほうれん草バター炒め

九州産ほうれん草を使ったバター炒めです。スイートコーンの甘みがバターの風味とマッチしています。お弁当に便利な紙カップ入りです。

商品のお問合せ先 ： お客様相談センター　0120-69-2101（ニチレイ）【受付時間：9：00～17：00（土・日・祝日を除く）】

History
―歴史を振り返る―

ニチレイ70年のあゆみ

2015年12月1日に創立70周年を迎えました。

日本の社会と冷凍食品の変遷とともに、ニチレイの歩みをご紹介します。
1942年、第2次世界大戦の間の必要な食料を管理することを目的に公布された水産統制令に基づき、ニチレイの前身となる帝国水産統制株式会社が設立されました。その後、終戦による水産統制令の廃止を受け、1945年12月1日、商法上の株式会社への改組と社名変更が行われ、日本冷蔵株式会社として再スタートしました。

設立～1950年代

▲マグロ買付の船

帝国水産統制は戦時中、空襲等により国内の設備の大半を失い、敗戦により海外事業も消滅しました。終戦後、日本冷蔵として再スタートしましたが、漁撈（ぎょろう）機能を持たない水産品の売買は利が薄く、かろうじて戦禍を免れた設備での製氷・冷蔵・凍結事業も容易なものではありませんでした。それでも、長期保存可能で、凍結時の品質を保つことが出来るといった特性を持つ冷凍した食材は、食糧難にあえぐ国民の支えとなりました。復興の進展とともに畜産品の売買や調理冷凍食品の生産販売へと事業を拡大させ、食生活の改善に寄与していきました。

TOPICS
- 優れた動物性たんぱく源（水産物、畜産物）を求めて世界各国へ進出。
- 調理が便利で品質が一定し衛生的な調理冷凍食品は、一時に大量の食事をまかなう団体給食、特に学校給食を中心に普及。
- 1950年代後半、食糧供給が安定し始め、魚・肉・乳製品などの消費が増大。さらなる需要を見込み、全国各地に大型冷蔵倉庫を建設。

▲日本冷蔵 清水工場

1960～1970年代

高度経済成長期に、精肉など生鮮食料品を売るスーパーマーケットが登場し始め、産地から店頭まで鮮度を保ったまま食料品を運ぶ物流のネットワーク（コールドチェーン）が構築されていきました。また、いわゆる「三種の神器」のひとつである家庭用冷蔵庫の普及は、冷凍食品の発展を後押ししました。

TOPICS
- 当社が中心になって提供した冷凍食材を使い、東京オリンピックの選手村食堂を運営する料理人は、生鮮品を材料にした場合と同等の料理を作り上げた。材料としての使い勝手や需給調整の機能から、冷凍食材の高評価につながった。
- 人口の都市部集中によって長距離輸送量が増加。輸送中の温度上昇から魚や肉などの鮮度を守るため、当社は、いち早くマイナス20℃で室温を維持できる長距離冷凍貨物車を開発し、国内の低温物流ネットワークを構築。

▲長距離冷凍貨物車「はやぶさ号」

1980～1990年代

オイルショック後の所得の伸び悩み、人口増加率の低下、カロリー摂取量の頭打ちなどの厳しい事業環境と、水産品の相場の見誤りから発生した巨額損失による最大の経営危機を当社は乗り越えました。
その後は、食の外部化や調理の簡便化といったニーズに応えた商品を次々に開発し、冷凍食品の地位を高めていきました。

▲イニシャルの「N」とVictoryを意とする「V」を合わせたデザイン。右側に高く伸びているのは、右肩上がりの発展を意味する。

TOPICS
- 経営危機を乗り切った当社は1985年に、社名を「ニチレイ」へ変更。新しい企業コンセプト「心の満足」というキーワードのもとに、シンボルマークも「N」に変更し、企業イメージを一新。
- 1982年に診断薬事業（現バイオサイエンス事業）を開始し、バイオテクノロジー分野へ進出。
- 1988年に低温物流事業が欧州（オランダ）へ進出。
- 1994年に発売した電子レンジ調理対応のコロッケは、揚げたての食感を味わえる冷凍食品として大ヒットし、電子レンジ調理の先駆けとなった。

2000年～現在

バブル崩壊後の景気停滞と個人所得の減少に加え、人口減少時代に突入し、食品を取り巻く業界では、縮小傾向にある市場のパイを奪い合うように競争を激化させています。加えて、企業の成長領域として海外市場への進出も進み、国内外での企業価値を高めるための業界再編への動きも目立つようになりました。
当社は、このような環境を予測し、事業環境変化への対応やさらなる成長への基盤を確立するため、2005年に持株会社体制へ移行しました。
持株会社体制へ移行後は、各事業領域における意思決定や環境適応の迅速化を進めてまいり、2016年3月期には、過去最高益を見込んでおります。
これからも、長期保存や凍結時の品質保持を可能にする“冷力”を事業のコアとして、その特性を活かした事業を展開することで日本の食生活をより良くし、社会からの期待に応えてまいります。その結果として、社会に信頼され、さらなる成長を目指してまいります。

会社概要 (2015年9月30日現在)

社　名	株式会社ニチレイ
所在地	〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号 ニチレイ東銀座ビル
設　立	1942年12月
役　員	代表取締役会長　村井利彰 代表取締役社長　大谷邦夫 取締役（執行役員）　中村隆 取締役（執行役員）　池田泰弘 取締役（執行役員）　松田浩 取締役（執行役員）　大内山俊樹 取締役（執行役員）　田口巧 取締役（執行役員）　金子義史 社外取締役　判治誠吾 社外取締役　三品和広 社外取締役　谷口真美 常勤監査役　荒剛史 常勤監査役　海津和敏 社外監査役　齊田國太郎 社外監査役　植野道雄 社外監査役　岡島正明 執行役員　宇田川辰雄 執行役員　三木一德
会計監査人	新日本有限責任監査法人 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル

株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数 …… 720,000,000株

発行済株式総数 …… 295,851,065株
（うち自己株式 10,039,981株）

単元株式数 …… 1,000株

株主数 …… 20,255名

■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	24,411	8.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	22,780	8.0
日本生命保険相互会社	11,489	4.0
株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行	9,733	3.4
株式会社みずほ銀行	8,630	3.0
第一生命保険株式会社	5,716	2.0
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,598	2.0
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	5,530	1.9
株式会社日清製粉グループ本社	5,439	1.9
農林中央金庫	5,350	1.9

(注) 1.持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2.持株比率は、自己株式(10,039,981株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定日	定時株主総会・期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日
上場証券取引所	東京(第一部)
証券コード	2871
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告により行います。公告掲載場所は当社ホームページhttp://www.nichirei.co.jp/とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に公告を掲載します。

上場株式等の配当等に係る税金についてのご案内

2013年12月31日をもって上場株式等の配当等に係る軽減税率が廃止されており、今回の第98期中間配当金の税率は本則税率となります。また、2037年12月31日までは、復興特別所得税として基準所得税額に対して2.1%を乗じた金額が課税されます。具体的な税率は下表をご参照ください。

■上場株式等の配当等に係る税金と税率

	2037年12月まで	2038年1月以降
所得税	15.315%	15%
復興特別所得税		–
住民税	5%	5%
合計	20.315%	20%

※上記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
※発行済株式の総数等の3%以上に相当する数または金額の株式等を有する個人の大口株主様につきましては、別の税率となりますのでご注意ください。
※詳細につきましては、所轄の税務署にお問合せください。

株主・投資家、個人投資家向け情報サイト

最新IRニュース、最新の決算発表情報をご覧いただくことができます。また、個人投資家向け情報サイトでは、個人投資家説明会時の決算資料をはじめ、ニチレイグループのことをわかりやすく紹介しています。

●ニチレイメーリングサービス
ニチレイWebサイトの更新情報や新商品の情報を、電子メールでも受け取ることが可能です。登録は無料ですので、どうぞご利用ください。

http://www.nichirei.co.jp/ir/

個人投資家向け情報サイトへは、こちらからアクセス可能です。